



県警だより 29

長崎県警察における 安全・安心な長崎県をめざした諸対策の推進



長崎県警察本部生活安全部
参事官兼生活安全企画課長 警視

西島 英雄

1 はじめに

長崎県警察では、「県民の期待と信頼にこたえる力強い警察」を基本姿勢として「県民が安全を実感できる総合的な犯罪抑止対策の推進」など5項目の運営指針を掲げ、治安の確保に努めております。

現在、本県警察は、自治体、防犯ボランティア団体、関係機関団体等と連携して県民が安全で安心して暮らせる地域社会実現のため、犯罪の抑止と検挙に向けた諸対策を推進しておりますが、その主な取組み状況について紹介させていただきます。



警察本部庁舎

2 長崎県の特徴と犯罪情勢

(1) 長崎県の特徴

長崎県は、九州の西北部に位置し、東西213km、南北307kmにおよぶ県域であり、東は島原半島が突出し、有明海を隔てて熊本県、福岡県と相接し、南は長崎半島が天草灘に望み、西海上には五島列島が、西北海上には壱岐、対馬があり、朝鮮海峡のかなたに韓国を望むことが出来ます。

人口は、平成22年1月1日現在で1,431,740人であります。昭和期の長崎市への原子爆弾の投下、平成期の雲仙普賢岳噴火による大火碎流の被災は、歴史的にも皆さんご存じのとおりであります。

本県の観光スポットとしては、グラバー園、稲佐山の夜景、平和祈念像、眼鏡橋、雲仙地獄、ハウステンボスなどが有名で、イベントでは「長崎ランタンフェスティバル」、「長崎くんち」、食では「卓袱料理」、「ちゃんぽん」、「カステラ」のほか、最近では米軍基地がある佐世保市の「佐世保バーガー」も全国的に知られるようになってきました。



龍踊り

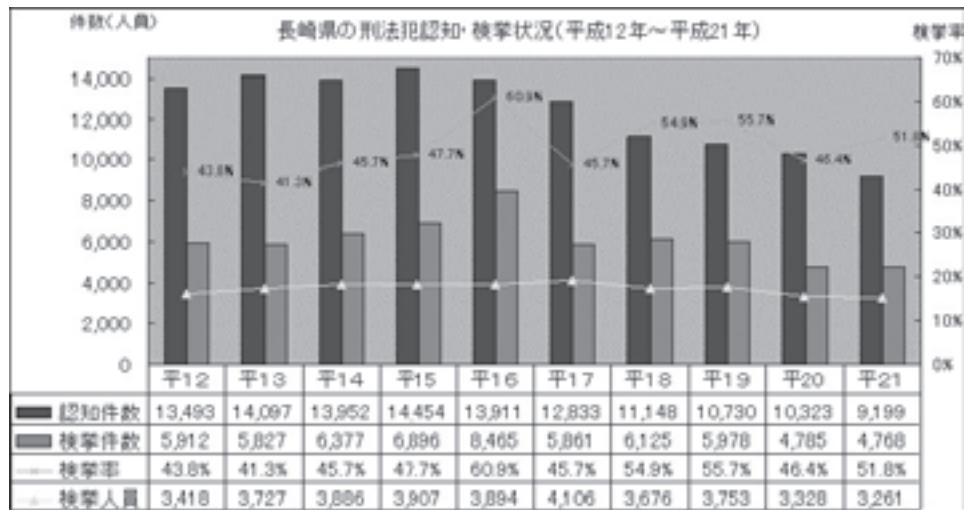


坂本龍馬像

また、長崎は、日本初の商社「亀山社中」の設立など坂本龍馬が歴史的にも重要な足跡を残した地でもあり、2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」では、本県出身の福山雅治氏が龍馬を演じていることでも知られているところであります。

(2) 犯罪情勢

県下の治安情勢は、平成15年の14,454件をピークに6年連続で減少し、平成21年は、平成15年のピーク時より36%減少しましたが、路上強盗、ひったくり、強制わいせつ等が増加に転じ、悪質巧妙な振り込め詐欺の被害は1億円を超え、県内の治安に与える影響が懸念されるところです。



3 犯罪抑止対策の推進

(1) 地域安全活動の推進

ア 防犯ボランティア団体等との連携

地域の皆さんやボランティア団体の皆さんと連携し、合同パトロールや防犯診断等の活動を行っています。

青色回転灯装備車両によるパトロール団体（青パト団体）は、平成21年末で114団体、防犯ボランティア団体も平成21年末で444団体と年々増加しており、県下各地で子ども見守り活動等のパトロール活動が活発に行われております。

青パト団体の活性化を図るための事例としては、青パト団体活動のための支援活動と青パト団体の連絡会開催があります。

青パト団体の活動支援としては、警察からの長崎市に対する継続した働きかけにより、ガソリン代の一部が青パト団体に支援されるようになり、積極的なパトロール活動の一要因ともなっております。（長崎市内の17団体に対して実施されており、1団体当たり上限年間9万円で1回の活動で250円の支援が行われている。）

青パト団体連絡会については、青パト団体としても活動している長崎市が中心となって、平成20年から、警察本部及び市内署の生活安全課長、長崎市内で活動する青パト団体代表者を一同に集めての「青色回転灯防犯パトロール連絡会」を開催し、各団体の取り組み状況・今後の課題などについて協議することで、より効果的なパトロール活動を展開しております。



見守り活動状況

イ 安全・安心まちづくりパトロール業務委託事業

本事業は、平成21年度から平成23年度までの間、年度ごとに地区を選定し、県内の警備業者に委託して「安全・安心まちづくりパトロール隊」を編成し、A T M周辺等における広報啓発・注意喚起等の振り込み詐欺被害防止活動、小中学校周辺及び下校時間帯における通学路の警戒等子どもの安全確保活動及び駐車(輪)場等の街頭パトロールによる乗り物盗・車上ねらい等の街頭犯罪防止活動を実施しております。

平成21年度は、平成21年12月1日から平成22年3月31日までの4ヶ月間、長崎市内の4警察署管内において、警備業者の制服を着用した安全・安心まちづくりパトロール隊（12名）がパトロールしております。

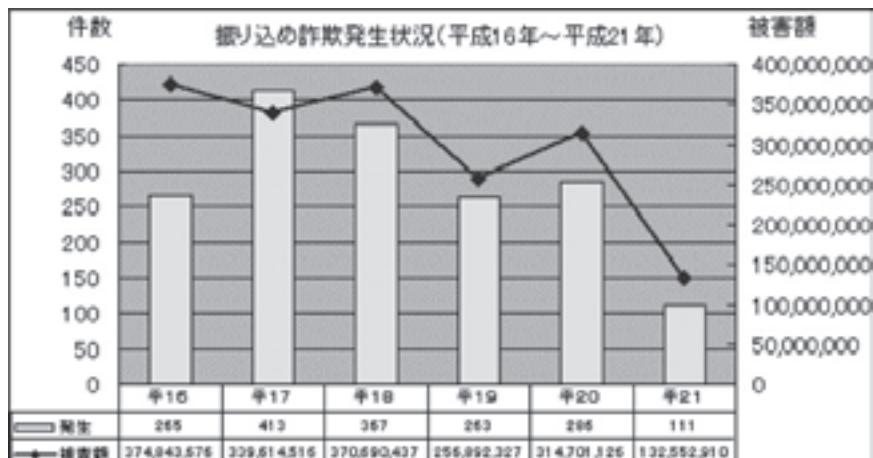


パトロール中の隊員

（2）振り込み詐欺被害防止対策の推進

本県の振り込み詐欺による被害は、平成21年中、認知件数が111件、被害額約1億3,300万円で、県民と警察が一体となった予防活動を推進した結果、前年比で発生件数が175件の減少、被害額が約1億8,200万円の減少となっております。しかし、依然として被害額が1億円を超え、出会い系サイトの未納料金の請求などの架空請求詐欺事件が前年に比べ増加し、高齢者の蓄えを狙った新たな手口も懸念され、今後も事件の検挙と被害防止の両面の対策を推進することが求められております。被害防止対策として、反復・継続的な広報啓発活動、金融機関と連携した水際における被害阻止、また関係機関・団体・事業者等との連携を強化して、次のような諸対策を推進しているところです。

- 高齢者等の的を絞った情報発信活動
- 寸劇、腹話術、替え歌など県民にわかりやすい広報啓発
- 事業者（ヤクルトレディ等）と連携した顧客訪問時の広報啓発
- 金融機関等と連携したA T M周辺における顧客への声かけによる被害阻止
- 金融機関と連携したA T M利用限度額引き下げの促進
- 自治体や関係機関等と連携した広報啓発
- 民生委員等による高齢者世帯訪問時の広報活動



(3) 子ども・女性の安全対策の推進

昨年中の県内における性犯罪(強姦、強制わいせつ事件)の認知件数は91件で、そのうち子ども(20歳未満)の被害が43件でした。また、こうした子どもや女性に対する性犯罪等の前兆事案とみられる声かけ・つきまとい等の事案が159件発生しており、県警ではこれらの被害抑止に向けて対策を強化しているところです。

県警では、昨年3月27日、生活安全企画課内に、「子ども・女性安全対策係」を設置しました。

この係の任務は、子どもや女性を対象とする性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまとい等について行為者を特定し、検挙又は指導警告措置を講じる先制・予防的活動を行うものです。

子どもや女性を対象とする性犯罪等は、被害者等の心理に深い傷を残す卑劣な犯罪であり、また地域住民や社会全体に大きな衝撃を与えるものであることから、こうした犯罪等をなくすために、現在県民の皆様から積極的な情報提供を呼びかけ、先制・予防的活動を強力に推進しているところです。



被害相談を受ける女性係員

4 おわりに

長崎県警察が推進している安全・安心な長崎県をめざした諸対策の取組みの一部を紹介させていただきました。

県内の刑法犯認知件数は、6年連続して減少しているとはいえ、県民の体感治安に大きく影響を与える路上強盗、ひったくり、強制わいせつ等は増加しており予断を許さない状況にあります。

こうした情勢を踏まえ、常に「県民の期待と信頼にこたえる力強い警察」を念頭に組織の総力をあげて、安全で安心して暮らせる地域社会実現のため、日夜奮闘してまいります。